第1回定例会 一般質問（2月22日～24日）の主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

新しい翼

柿沼　敏万　議員

問　JR南仙台駅付近の鉄道高架化は、鉄道で東西に分断された地域の一体化を図るために実現すべき施策であり、本市の事業として取り組むべきではないか。

答　高架化については、多額の事業費の確保や関係機関との協議、地域が東西一体となったまちづくりの検討等の課題がある。そういった課題に対応しつつ事業として取り組んでまいりたい。

その他の主な質問項目
○新市立病院の経営形態
○水族館実現に向けた取り組み

庄司　俊充　議員

問　泉岳少年自然の家の改築に泉ケ岳周辺の木材を調達することで、計り知れない教育効果を生むのでは。

答　地域材利用は教育的効果が期待されるため、内装の一部に地域の木材使用を指定し学習教材として有効活用する。

その他の主な質問項目
○パークゴルフ場の整備
○マラソン大会ボランティア枠
○里地里山と地域活性化策
○農業サポーター制度の拡充
○イノシシ対策
○うずら飼育場の公害対策
○学びの連携モデル事業

熊谷　善夫　議員

問　市長による国内外へのシティセールスの意義等について認識を伺う。

答　シティセールスは重要な活動であり、機会をとらえ積極的に取り組んでいきたい。

問　防災体験教育のための防災館等の整備を求めるが、事業化に向けての所信を伺う。

答　事業優先度を意識しつつ、整備を目指し、さらに幅広く検討を進めてまいりたい。

その他の主な質問事項
○書道や算盤（そろばん）の教育の現状
○イクレイへの参加の現況
○飲酒運転絶滅の市民啓発等

民主クラブ仙台

岡本　あき子　議員

問　せんだい保育室と幼稚園との提携を支援することで3歳未満児待機児童の解消を。

答　有効な方策と考える。今後、関係団体等と協議する。

その他の主な質問項目
○飲酒運転撲滅の徹底を
○地下鉄南北線駅のエスカレータの計画的改良を
○中田地区の線路高架化を前提に、JR南仙台駅西口からの当面の利便性向上を
○分譲マンション耐震改修補助の活用促進を
○自分の責任で自由に遊ぶ子どもプレーパークの拡大を

安孫子　雅浩　議員

問　市民ランナー待望の新たなマラソン大会が始まる。市民の健康づくりのシンボルとなる大会開催について伺う。

答　魅力あるコース設定のほか、多くの市民が参加できるよう種目等につき検討する。

問　区役所と市民センターの連携による地域課題の解決はどのように進めるのか。

答　市民協働によるまちづくりの推進と自治力の向上に向けた支援を強化していく。

その他の主な質問項目
○高齢者の住まいと居住環境
○学校給食の食材と本市農業

改革フォーラム

斎藤　範夫　議員

問　新年度に実施する「高齢者買物実態調査」の結果を、買い物難民対策にどう活かすのか伺う。

答　地域の実情を多方面から把握し、民間事業者と連携したモデル事業を実施するなどして地域住民が安心して暮らせる地域づくりを進める。

その他の主な質問項目
○健康増進センターの運営を健康福祉事業団に随意契約する必要があるのか
○旭ヶ丘駅前の複合公共施設計画の見直しが遅れている理由は何か

佐竹　久美子　議員

問　「男性」にとっての「男女共同参画」の重要性が国においても強調され始めている。本市の着実な推進を求め伺う。

答　現在策定中の、次期「男女共同参画プラン」の中で十分に反映させてまいりたい。

問　郊外の団地はさまざまな課題を抱えているが、鶴ケ谷団地に対する取り組みは。

答　高齢者も元気で安心して生活できるコミュニティの強化等、本庁と区役所が連携し市民協働により取り組む。

その他の主な質問項目
○環境基本計画への取組方針

大泉　鉄之助　議員

問　地方議員年金制度は平成の大合併が起因となり破綻し、約4億円の負担金の予算計上を余儀なくされた。すべて地方に押し付ける政府の習性に対し市長は断固として立ち向かうべきだが、決意を伺う。

答　協議なしに地方が負担する形になったことは甚だ遺憾であり、本年2月全国市長会から国に申し入れを行った。私自身もさまざまな機会をとらえて強く働きかけてまいる。

その他の主な質問項目
○農林水産業振興に対する東北のリーダーとしての役割

大内　久雄　議員

問　荒浜地区北部の防波堤整備の必要性について、過去数度にわたり議会において指摘し質問してきたが、現在も経過結果についての回答がない。市長の答弁を求める。

答　海岸管理者である県に対し幾度となく要望してきたが、他の海岸の整備や補修が優先されており、大変残念なことと受け止めている。今後は直接知事に対してお伝えする等、働きかけてまいりたい。

その他の主な質問項目
○基本構想・基本計画における「災害に強い都市づくり」

公明党

山口　津世子　議員

問　耕作放棄地や森林の適正管理など国の補助を活用し雇用につなげる取り組みを。

答　今後とも補助事業を活用し、雇用の拡大に努めたい。

その他の主な質問項目
○介護予防対策、認知症サポーターの活躍の場づくり
○がんについて中学生、高校生が学ぶ機会をつくるべき
○地下鉄の駅に授乳スペースなど「赤ちゃんの駅」の設置を
○空き家の適正管理
○秋保地域の環境整備、県道の歩道整備、工芸の里の活性化、秋保町資料館の設置

笠原　哲　議員

問　公共事業の急激な減少は、中小企業等に大きな打撃を与えているので、地域の生活関連道路の整備を中心に打開策を講じるべきである。

答　今後は地域住民の避難の際の安全な通行や消防活動が円滑に行えるかという視点で道路状況等を把握したい。

その他の主な質問項目
○地方自主財源の確保
○温室効果ガスの削減目標
○バイオマス事業の進展は
○松森焼却工場の灰溶融施設
○市営住宅へのインターホン
○人が輝くあいさつ運動

共産党

ふなやま　由美　議員

問　新規学卒者等の就職支援として一人月10万円の支援金を3年間出し、地元で千人を正規雇用する制度の創設を。

答　企業ニーズに即した人材育成の推進により対応したい。

その他の主な質問項目
○正規雇用につなぐチャレンジサポート事業へ見直しを
○高校での就職支援員やスクールカウンセラーの充実を
○地域経済に役立つ住宅リフォーム助成制度の創設を
○600人を解雇する東北セミコンダクタ撤退の撤回と補助金33億円の返還を求めよ

嵯峨　サダ子　議員

問　生活保護担当ケースワーカーは、国の標準数に対し、39人足りない。不足数に見合った増員をすべき。

答　補助職員の配置や査察指導員の増員等の強化を図る。

問　160人もの路上生活者等の住まいや、就労確保に実績がある民間団体のシェルター事業に市は支援をすべき。

答　国の基金等を活用しながら、必要に応じ、今後も路上生活者等の支援に努める。

その他の主な質問項目
○生活保護の運用改善
○福祉にかけるお金を増やす

社民党

相沢　和紀　議員

問　小中学校の屋内運動場の老朽化が進んでいる。築40年前後のものは早急に改築を、コンクリート床については児童生徒や地域利用者の健康等の面から木製床への改修を。

答　コンクリート床タイプの運動場の建設以前に建築された、老朽化の激しい建物から改築を進める考えである。

その他の主な質問項目
○"硬い""冷たい"そして"結露"等の問題のある指定避難所の認識と改善方針
○市有建築物等の長寿命化実施方針の考え方と改修事例

石川　建治　議員

問　健康増進センターの見直しに当たって、利用者に理解を求める努力をすべき。

答　利用者の皆様が運動継続できるよう支援しながら、一層理解が進むよう努めたい。

問　市民との合意形成力を高める方策を具体化すべき。

答　情報を適時適切に提供し、市民の皆様のご意見を踏まえる等合意形成に努めたい。

その他の主な質問項目
○市営バスの乗客の安全確保と乗務員の負担軽減
○市営バスの正規職乗務員の新年度からの計画的採用

八島　幸三　議員

問　あすと長町地区に移転新築される市立病院の経営形態については、市民の健康と安全を守る観点から直営とすべきと考えるが、いかがか。

答　直営での経営を維持し、移転を円滑に進め、市民の生命と健康を守るという市立病院の使命を果たしていきたい。

その他の主な質問項目
○医療スタッフの充実、質的向上の取り組み
○医師の確保の面からも研修医の受け入れ体制整備を
○医療の高度化等に対応するためにも職種間連携強化を

無所属

菅原　健　議員

問　地下鉄東西線（仮称）荒井駅の駅舎上部の利用計画について伺う。

答　3歳未満児対象の保育施設及びコミュニティ活動支援施設のほか、地域の情報提供コーナーや地産地消の取り組みでの利用など、荒井地域の魅力づくりに活用したい。

その他の主な質問項目
○荒井駅前広場やパークアンドライド駐車場の整備
○荒井地区におけるまちづくりの将来像

本号の編集にあたって

第1回定例会は、2月14日から3月15日まで行われましたが、開会中の3月11日に東日本大震災が発生しました。3月14日は休会とし、15日の最終日の本会議も議場が被災したため、特別委員会室で行いました。この市議会だよりも、第1回定例会の内容について、5月1日に発行する予定でしたが、4月21日、22日の震災関連議案に係る臨時会の報告も盛り込んだため、1か月遅れで発行することとといたしました。このような事情で、4月の第1回臨時会の内容を1・2面に、第1回定例会の代表質疑と一般質問を3・4面に掲載し、震災対策特別号としてお届けいたします。